

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

授業者 1組31名 主任教諭 仲田 竜太郎
 2組33名 主任教諭 岩井 咲子
 3組32名 主幹教諭 山口 貴司

1 単元名 『汐入地域貢献プロジェクト』

2 単元の目標

地域の過去、現在、未来に目を向けて地域に貢献する活動を通して、地域には様々な立場の方がそれぞれの思いをもって地域を支えていることを理解し、自分たちにできることやこれからの地域の在り方を考えるとともに、地域に対する愛情をもち、地域を支える一員としての自らの役割を考えることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①汐入の町の未来のために、現在の自分たちにも貢献できることがあることを理解している。 ②書籍やインターネット、取材、アンケート調査を通して得た情報を集約して活用する方法を理解し、活用している。 ③今の自分たちにできることを考える活動を通して、自分自身が様々な組織や人とのつながりの中にあり、社会を形成する一員であることに気付いている。	①地域の人々の思いを念頭に自分たちにできることを考え、課題を設定し、解決に向けて計画を立てたり、計画を調整したりしている。 ②課題解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較・関連付けたりしながら整理・分析し、解決に向けて具体的に考えている。 ③伝える相手や目的に応じて適切な方法を選択して効果的に表現したり、提案したりしている。	①地域の現状や将来、地域の人々の思いを基に自分たちにできることを考え、よりよい活動にしようとしている。 ②既習の再開発の歴史を始めとしたこれまでの調べ学習の経験を生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③地域の人と交流したり関わったりすることで、他者理解を深め、自分自身も汐入の町の一員として、よりよい町にしていこうとしている。

4 単元について

(1) 学習指導要領との関連

本単元は、学習指導要領の目標及び内容の取扱い、本校の重点目標を受けて設定した。

学習指導要領 総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

汐入東小学校 総合的な学習の時間の重点目標

- (1) 体験活動を重視した年間指導計画を作成し、自ら課題を見付け、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする資質や能力を育てる。
- (2) 学び方やものの考え方を身に付け、探究活動に主体的な態度を育てる。
- (3) キャリア教育を基盤として、地域社会の中で人と関わり、自分のよさを生かす生き方を目指すとともに、積極的に町に関わり、町に貢献できる態度を育成する。

「総合的な学習の時間」 年間指導計画（第6学年）

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
70 時間	「汐入地域貢献プロジェクト」(45)										
	はたらく車を作ろう プログラミング(8)		地域社会体験に 行こう(6)		下田へGO (4)		卒業に向けて (7)				

(2) 指導計画と教材について

昨年度は、1学期に、SDGsとは何かについて学習し、2学期はグループで1つのテーマに絞って学習をした。3学期は、1、2学期に学習したことを基に自分たちでできることを考えて実際に行動を起こした。3回の繰り返しの探究的な学習過程を経ていく中で、児童の情報収集や発表の技能、次の学習への見通しをもつ力などが身に付いてきている。本学年は、3年生の時からこの研究主題に沿った研究を行ってきているため、小学校最後の学年として、総合的な学習の時間だけでなく、他教科への学びの深まりの姿、自己の生き方の変容へとつながる教材としたい。

今年度の1学期は、地域貢献をするためにまずは地域を「知る段階」として、「町の再開発を通した汐入の町の歴史や様子」などについて、グループで1つのテーマに絞って調べ、学級や保護者に向けて発表をした。2学期は「計画を立てる段階」として、児童の地域に対する願いや思いを総合的な学習の時間で少しでも形にして、将来にわたって地域に貢献する、住み続ける町の一員としての意識

を高めることができたらと考える。そして、3学期は、「実行する段階」として、地域貢献という形で児童自らの思いを行動に移していきたいと考えている。

5 児童の実態

1学期に地域について調べたことで、児童は汐入の町が再開発によって住みやすい町になり、そこには様々な人が地域のために尽力してきたことを知った。そして、自分たちの住む町が今後も住みやすい町であり続けるために、これから「もっと町のよさを広めたい」、「地域のコミュニティを広げたい」、「自分自身も地域に貢献できることを考えて実行したい」と具体的に考えている児童も多くいた。また、児童の発表を聞いた保護者の方からも、「活気ある町が続くように願っている」という意見も見られた。今後は、児童の思いや願いを形にできるように授業を展開していきたい。

6 研究主題に迫る手だて

本校の考える総合的な学習の時間で目指す「深い学び」の姿

既存の知識・技能や他者の考えをつないだり、情報を取捨選択したりして自らの考えを形成することで、学びに対して有用感を感じることができるとともに、自己の生き方を見つめ直すことができる児童。

本単元で目指す子どもの姿

地域を支えてくださっている方の存在を忘れず、商店で挨拶をしたり、町会のイベントに参加したりすることを通して、地域に対する愛着をもつ。

(1) 地域資源の活用

① ゲストティーチャーの活用

1学期は、汐入の再開発前後の町の様子を知るために、『白髭西地区市街地再開発事業（通称・再開発）』時の荒川区議会議員、住民協議会のメンバー2名をゲストティーチャーとしてお招きした。2学期は、地域の「こども園」「父親の会」「商店街」などと連携し、地域のために何ができるか直接地域の方から話を聞く活動を取り入れることで、単なる調べ学習にとどまらず、実感を伴った理解、社会に働き掛ける意欲を高められるようにする。

② 自分事として捉え、進んで解決するための支援

汐入東小学校の児童数が減っていることを始めとした汐入地区の現状を取り上げることで、地域の課題を自分事として捉えられるようにする。持続可能な社会を目指す昨年度のSDGsとの関連性を図ることで更に興味をもたせたい。また、自分たちで調査の項目を決めるといった調査型の学習を取り入れることによって、児童が自分事として捉えられるようにする。

(2) 単元構成の工夫

① 既習事項と地域学習との連動

昨年度の総合的な学習の時間「Go! SDGs」や1学期に行った「汐入で育つ」を振り返り、再開発を通して知った汐入の歴史について考える中で、持続可能な社会に意識をもたせつつ、SDGsの取組や地域に貢献できることについて身近なところから自ら問いを見だし、主体的に学習を進められるようにする。汐入の町がどのような人のどのような思いでつくられたのかを知ることによって、地域貢献を「誰のために」、「何のために」行うのかがより明確となり、終

末まで興味・関心をもち続けて活動することができるのではないかと考えた。

②多くの選択肢の中から課題を選択するための工夫

児童はこれまでに何度も汐入の町について学習をしてきている。課題を設定する際に、児童の話を共感的に聞いたり、自由に話したりする雰囲気を作ることで、主体的な学びができるようにする。また、随所にK P法（紙芝居プレゼンテーション）を用い、互いの情報を交換することで児童の選択肢の幅を広げる活動を取り入れる。

③児童の思いを重視した展開

本単元は校外の施設・団体と連携を図りながら進行していく。実際に児童が貢献をしたいと考えるであろう施設は予め想定されることに加え、過去に連携をした実績がある施設、コンタクトをとりやすい施設などは円滑に活動が進む可能性が高い。しかし、何のために、誰を対象に、何をするかを決めるのは各学級、児童一人ひとりに委ねる。そうすることで主体的に学習に取り組むだけでなく、児童が地域を学び、地域に愛着をもち、地域の一員となっていくことができ、自己の生き方を考えるという総合的な学習の時間の目標に迫っていくことができるのではないかと考える。

(3) 思考を深めたり、広げたりする活動

①児童が作成した学習計画表の活用

児童が自らの学習の経過を記録し振り返ることで、次の学習をより良くしたり、自分の学習の積み重ねを実感できるようにしたりする。また、見通しをもたせることで、何をいつまでに、どのように学習すればよいのかなどが分かり、児童が主体的に学習に取り組みやすくする。

②気付きや考えを生み出す思考ツールの活用

K P法（紙芝居プレゼンテーション）、付箋、情報共有ボードなどを活用して、個人の調べ学習や話し合いのきっかけをつくったり、発表する活動を取り入れたりとすることで、自分の考えを整理したり、新たな気付きや発見を促したりして、主体的に学習に取り組むことができるようにする。

7 指導と評価の計画（45時間）

小単元名 (時数)	○主な学習活動 ・ 内容	評価規準			評価方法 ※資料 ☆研究主題に 迫る手だて
		知	思	態	
汐入で育つ (20時間)	6年生の総合的な学習の時間のテーマを決めよう。 ○昨年度の総合的な学習の時間の活動を思い出す。 ・SDGsについて調べた。 ・家庭や学校でアクションを行った。 ○今年度は対象を広げ、地域（汐入の町）の未来のために活動することを知る。 ○誰のために、何のために貢献をするのかを考える。 ※自分たちには地域貢献を計画・実行するための情報が少ないことに気付く。			①	行動観察 振り返り ☆（2）単元 構成の工夫①
	地域貢献をするために、汐入の町のことをより深く知るための計画を立てよう。 ○これまでの学習を思い出し、汐入の町について知っていることを出し合う。 ・新しい町 ・災害に強い ・隅田川 ・集合住宅 ※班ごとにKJ法を用いて行う。 ※「人」に着目させるため、地域学習の視点「人」、「モノ」、「コト」を提示する。 ○新しい町である汐入の町と越谷レイクタウンの昔の航空写真を比較する。 ※汐入の町には歴史があり、再開発前からそこで暮らしていた人がいることを捉える。 ○保護者アンケートの結果を見て、気付いたことを話し合う。				ワークシート 行動観察 振り返り ☆（1）地域資源の活用②
	1学期：汐入の町の歴史について調べ、家族や下級生に伝えよう。 ○課題を解決するための見通しをもち、学習計画を立てる。 （1）調べるテーマを決める。 ・再開発 ・防災 ・交通 ・祭り など （2）汐入の町の歴史を調べる。 ・図書 ・インターネット ・インタビュー （3）調べたことをまとめる。 ・パワーポイント ・新聞 など	①	①		☆（3）思考を深めたり、広げたりする活動①

(4) まとめたことを伝える。 ・保護者に伝える ・校内に掲示する など (5) 振り返りをして、活動に繋げる。 ※再開発を経て変化したものを中心に選択できるように導く。				
計画に従って、汐入の町のことを調べよう。 ○図書やインターネットを活用して、項目を絞らずに汐入の町のことを調べる。 ※図書は数に限りがあるため、PDFデータ化し、誰もが見られるようにしておく。 ※1つの項目について1枚の情報カードにまとめる。 ○K P法（紙芝居プレゼンテーション）を用いて、これまでに調べたことを全体で発表する。 ○自分が最も伝えたいことを選択し、同じものを選択した児童とグループになる。 ○選択した課題について更に調べる ○インタビューの必要性に気付く。	②	③	③	情報カード 行動観察 振り返り ☆（2）単元構成の工夫② ☆（3）思考を深めたり、広げたりする活動②
○自分たちの課題を解決するために更に知りたいことを出し合い、インタビューの計画を立てる。 ・再開発に反対した人はいなかったか。 ・どのような時に喜びを感じたか。 など ○計画に従ってインタビューをする。 ○インタビューをして分かったことを整理する。	①		①	インタビューの計画書 インタビューのメモ 行動観察 振り返り ☆（2）地域資源の活用①
「人々の思い」が伝わるように、発表の準備をしよう。 ○インタビューで得た情報を加え、作品を仕上げる。		②		作品 行動観察 振り返り
○まとめた作品を他のグループの児童と見せ合い、よりよくするためのアドバイスを出し合う。 ※ジグソー法の活用。 ○アドバイスを生かし、作品を仕上げる。 ○学級で報告会を開く。	①	③	②	作品 行動観察 振り返り
○各家庭で発表し、フィードバックをもらう。		③		
2学期の活動につながる振り返りをしよう。 ○単元の活動を振り返り、改めて地域貢献について話し合う。	③		③	行動観察 振り返り

地域貢献プロジェクトの計画を立てよう (15時間)	1学期の活動を振り返り、今学期の活動の見通しをもとう。 ○『汐入で育つ』(1学期)の単位を通した振り返りから、1学期に知ったことを確認する。 ・汐入の町には昔から住んでいる方がおり、新しい住民とよい関係を築いている。 ・再開発を中心となって進めた方のおかげで、今の汐入の町がある。 ○1学期の振り返りから、地域のために今後やりたいことを伝え合う。 ・K P法(紙芝居プレゼンテーション)を用いて全ての発言を掲示する。 《主に伝える活動》 ・新しい住民に、汐入の昔のことを知ってもらう取組がしたい。 ・他の町の再開発について調べ、汐入のよいところを再発見したい。 ・隅田川のことを知ってもらう取組がしたい。 《他の団体等と関わる活動》 ・P T Aや父親の会にインタビューをして、役に立つことを考えたい。 ・地域の商店街の宣伝がしたい。 ・幼児やお年寄りを対象にした取組を行い、コミュニティを強化したい。 《その他》 ・町をきれいにする取組がしたい。 ・S D G s (5年生の「総合的な学習の時間」の学習)と関連させたい。 ○20年後汐入の町がどうなっているのかを考える。 ・自分たちは出て行っている可能性が高く、親は年を取っている。 ・汐入東小学校はなくなっている。 ・公園は変わらないがきれいな町のままなのだろうか。 ○他の地域(高蔵寺ニュータウン)についての話を聞く。 ・一時期に集中して同世代の住民が入居したため、一斉に高齢になってしまう。 ・自分たちの住む地域にも似ているところがある。	①	①	発言 振り返り ① ※荒川区の学校別就学予定者数の推移 ※高蔵寺ニュータウンの年齢構成の推移 ☆ (3) 思考を深めたり、広げたりする活動② ☆ (1) 地域資源の活用② ☆ (2) 単元構成の工夫①
--------------------------------------	--	----------	----------	---

(1組本時)	『汐入地域貢献プロジェクト』の取組（対象と大まかな内容）を決定しよう。			行動観察 ワークシート 振り返り
	2学期：地域の一員として汐入のまちに貢献するために、今の自分たちにできることを考えよう。			
	○班ごとに汐入の町のためにできることについて話し合う。 ※誰のために、何の目的に行うかを意識する。 ・父親の会の会員数を増やしたい。 ・地域の商店街をPRしたい。 ・こども園の園児と関わり、地域の連携を密にしたい。 ・町会のイベントに参画したい。 ○学級全体で意見を出し合い、学級としての取組と目的を決定する。 ※実現の可能性や効果について検証する。 ※具体的な内容を考えるためには、思いを始めとした情報が不足していることに気付かせる。 ○課題を解決するための見通しをもち、学習計画を立てる。 (1) 必要とされる企画になるよう、対象施設の方にインタビューをする。 (2) インタビューを基に企画を決定する。 (3) 決定した企画の計画を立てる。 (4) 企画の準備をする。 (5) 企画を実行する。 (5) 振り返りをして、身に付いた力やこれからの生活で生かせることをまとめる。	①	①	☆（2）単元構成の工夫③ ☆（3）思考を深めたり、広げたりする活動①
	○担任間で対象施設が重複しないよう調整をし、再度決定事項を児童に伝える。			
	プロジェクトを実行するために必要な情報を集めるための質問を考えよう。 ○班ごとに企画を考えるためのインタビュー内容を考える。 ※対象施設の思いを汲み取り、具体的な企画に結びつく質問を考える。 ・困っていることはありますか。 ・今後〇〇（町会・父親の会・べるぼうと商店街など）にどのようなになってほしいと考えていますか。	②		発言 ワークシート 振り返り

	・今後汐入の町にどのようなになってほしいと考えていますか。 ・私たちにできることはありますか。 ・私たちと一緒にやりたいことはありますか。 など ○質問内容に対しての回答を予想する。 ・地域の子供にもっとイベントに参加してほしい。 ・あらゆる世代が気持ちよく過ごせる町になってほしい。 ・イベントの準備や後片付けを一緒にやってほしい。 - など ○考えた質問を全体で共有する。 ○地域貢献の対象にインタビューをする		②	②	☆(1)地域資源の活用①
	インタビューをもとに、地域貢献の具体的な企画を考えよう。 ○インタビューを基に自分たちにできることを考え、K P法で発表する。 ・父親の会の会員数を増やすために、学校で配布するチラシを作成する。 ・地域の幼保小中連携のために、汐入こども園の園児と共同で作品を作る。 など ○学級としての取組を決定するために、自分がP Rしたい企画を決める。 ※同様の取組を選択した児童でグルーピングをする。		①	①	発表 振り返り
(2組本時)	自分たちが考えた地域貢献の企画の魅力が伝わるように発表しよう。 ○グループごとに地域貢献の具体的な内容のプレゼンを作成する。 ※途中で対象施設についての情報が必要になった場合は、担任が対応する。 ○対象施設の方を招待し、プレゼン発表会を行う。	①	② ③	②	行動観察 パワーポイントの作品 発表 振り返り
(3組本時)	※ゲストの方から企画決定に直結する感想をお聞きする。 ○学級としての具体的な企画を決定する。				☆(1)地域資源の活用① ☆(3)思考を深めたり、広げたりする活動①・②

地域貢献プロジェクトを実行しよう (10時間)	3学期：地域貢献プロジェクトを実行して、もっと地域を好きになろう。			発言 振り返り
	決定した企画を実行する計画を立てよう。 ○実行委員を中心に、計画を立てたり役割分担をしたりする。		①	
	企画の準備をし、実行しよう。 ○計画に従って、チームごとに作業を進める。 ※対象施設との調整は担任が行う。 ○準備したことを実行する。 ○関わった方から感想をいただく。		③ ②	行動観察 振り返り
	○単元全体の振り返りをし、身に付いた力やこれからの生活で役立てたいことを共有する。 ・様々な世代の人が笑顔で暮らしているところが汐入の町の良いところだ。 ・これからも汐入の町を大切にしていきたい。 ・計画を調整しながら進めるのが難しかった。今後も見通しをもって取り組みたい。 ・友達と協力すれば大きな力になることを学んだ。時には忍耐も必要だ。 など	③	③	ワークシート 振り返り

8-1 本時の学習（4／15）〔6年1組〕

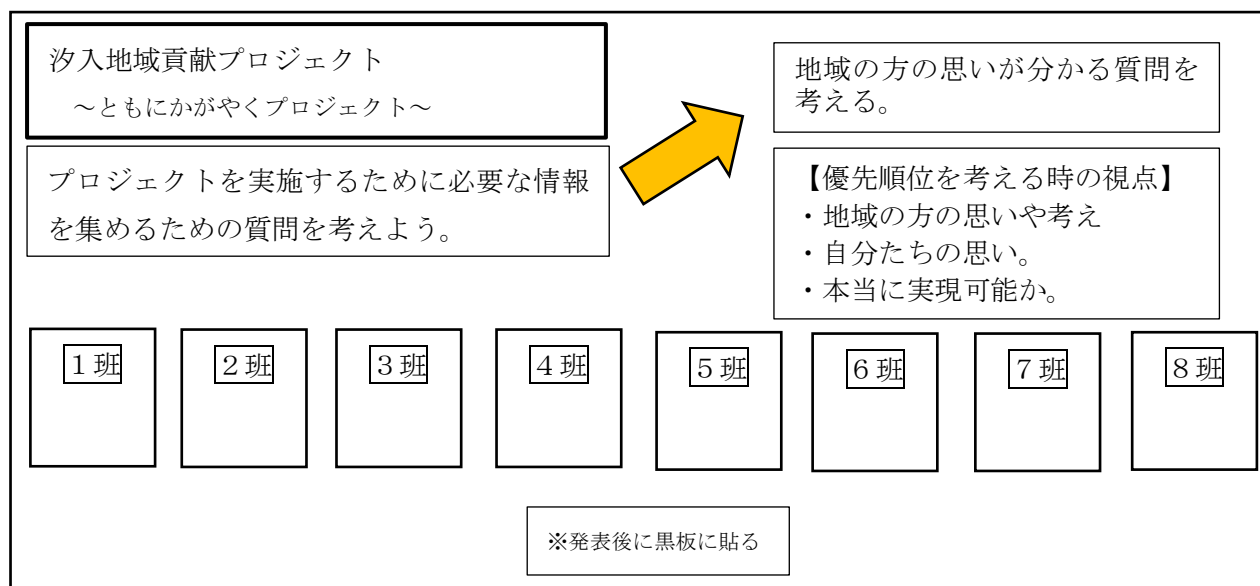
（1）目標

汐入地域貢献プロジェクトの計画に必要な情報を収集するための質問を考えることができる。

（2）展開

時間	○主な学習活動 ・内容 C予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◆【評価規準】（評価方法） ☆研究主題に迫る手だて
5分	○前時の学習内容とプロジェクトを実施する対象を確認する。 C：地域の商店街が対象になりました。 ○学習計画を確認する。（目的の確認） ・自分たちの思いだけでなく、相手の気持ちを知って、それを貢献の内容に取り入れる。 ○本時のめあてを確認する。	□プロジェクトを実施する対象を決めておき、その確認をする。 □誰のため、何のためのプロジェクトなのかを学級全体で再度確認する ☆（1）地域資源の活用① □ゲストティーチャーの話を聞くことで、質問を考えるためのイメージを広げる。
	プロジェクトの実行に向け、必要な情報を集めるための質問を考えよう。	
35分	○汐入地域貢献プロジェクトを行う上で必要な質問を考える。 C：困っていることはありますか。 C：一緒にできることはありますか。 C：一緒にやりたいことはありますか。 C：僕たちができる地域貢献は何ですか？ ○グループで話し合い、質問の優先順位を考える。 ＜優先順位を考える際の視点＞ ・地域の方の思いや考えを考慮しているか。 ・自分たちの思いも含まれているか。 ・実施することが可能なのか。 ○班で決めた質問内容を学級で共有する。 C：小学生にどのようなことができますか。 C：どのような時にやりがいを感じますか。	□自分たちの思いだけではなく、地域の方の考えや思っていることを考慮することが大切であることを伝える。 □自分の考えを付箋で示し、いろいろな考えを出すようにさせる。同じ意見はまとめるようにさせる。（グループ活動） □質問の意図を伝え合い、話し合うことでより有効な質問になるようにする。 ◆【思-②】 地域の方のことを思い、自分の考えをもち、班の中で話し合ったり、まとめようとしていたりしている。（行動観察・ワークシート） ＜支援を要する児童への手だて＞ 質問の内容に迷っている児童には、他のグループの付箋を見に行かせ、参考にさせる。
5分	○学習の振り返りをする。 C：効果的な質問を考えることができた。 C：インタビューをするのが楽しみだ。	□「ふりかえりシート」に今後の進め方についても考えさせるようにする。

(3) 板書計画



8-2 本時の学習（14／15）〔6年2組〕

（1）目標

自分たちが考えた地域貢献の企画の魅力が伝わるように、伝え合うことができる。

（2）展開

時間	○主な学習活動 ・内容 C 予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◆【評価規準】（評価方法） ☆研究主題に迫る手だて
5分	○前時の活動を振り返る。 ・各グループでプレゼンテーションを考えてきたことを振り返る。	□地域貢献を行う対象を確認する。 □自分たちの企画の魅力が相手に伝わるようにプレゼンテーションを確認することを確認する。
35分	自分たちが考えた地域貢献の企画の魅力が伝わるように発表しよう。 ○グループで準備してきた企画を発表し合う。 C：イベントの企画をし準備や後片付けをする。 C：ポスター作りをして対象施設の宣伝をする。 C：対象施設に行き、掃除などの手伝いをする。 C：対象施設の方と触れ合う。 ○観点に沿って、互いの発表を見合うようにする。 【観点】 ・地域に対する貢献度（効果） （誰のため 何のため 動機の明確化） ・実現に向けての難易度 （時間、時期、金銭、大人の協力 など）	□地域貢献の対象施設は、各クラス1つとする。（対象は、父親の会、こども園、高齢者施設、商店街などから、各クラスの希望や思いを基に決定する。） ☆（1）地域資源の活用① □地域貢献する対象の方をゲストティーチャーとして呼び出して発表を聞いていただき、企画に対する課題を直接聞くことで、今後、主体的に活動したり、よりよい企画の実現に向けて改善したりする手だてとする。 ☆（3）思考を深めたり、広げたりする活動① □観点の書かれたワークシートを活用しながら発表を聞くことで、観点に沿って発表を聞けるようにする。 ◆【思-③】 地域の人のことを考えながら、適切な方法を選択して、効果的に表現したり、提案したりしている。（観察・振り返りシート） <支援を要する児童への手だて> 発表の時は、グループで調整して分担を少なくしたり、メモを見たりさせる。発表を聞く時は、その都度発表の観点を意識させて、自分の考えをもたせる。

5分	○本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。 C：どのグループも地域の方へのインタビュー結果を根拠にしていた。 C：みんなの意見をどのようにまとめていけばよいのだろう。	□「ふりかえりシート」を使って、今後の進め方について考えさせるようにする。
----	--	--

(3) 板書計画

自分たちが考えた地域貢献の規格 の魅力が伝わるように発表しよう 発表の観点 貢献度…誰のため 何のため やりがい 難易度…時間 時期 お金 大人の協力 など	各グループの提案 ・ ・ ・ <振り返り> ・ ・
--	--

8—3 本時の学習（15／15）〔6年3組〕

（1）目標

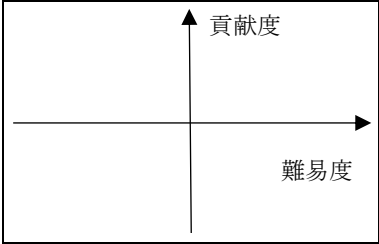
各グループの発表とそれに対する対象施設の方の反応からそれぞれの企画を分析し、学級としての具体的な企画を決定することができる。

（2）展開

時間	○主な学習活動 ・内容 C 予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◆【評価規準】（評価方法） ☆研究主題に迫る手だて
5分	○前時の活動を振り返る。	
32分	それぞれの企画を分析して、クラスの企画を決定しよう。 ○学級の企画に対する個人の考えをもつ。 《企画決定に向けての視点》 ・地域に対する貢献度（効果） （誰のため 何のため 動機の明確化） ・実現に向けての難易度 （時間 時期 金銭 大人の協力 など） ・XYチャートを用いて考えを整理する。 ○グループで個人の考えを発表する。 C：「父親の会」の会員を増やす活動がしたい。 C：3学期の土曜授業日に何かできないか。 ○全体で協議をし、企画を決定する。 ・ゲストティーチャーに意見をいただきながら進める。 ・大筋が見えてきたら、問題点を解決する方向で話し合う。 C：保護者の方にも来てもらわないと会員数の増加にはつながらないと思う。 C：発表ならグループごとに役割分担がしやすいと思う。 C：お金や飲食物を扱うものはハードルが高いと思う。	
		□XYチャートを用いることで、実現に向けての問題点を明確にできるようにする。 ☆（3）思考を深めたり、広げたりする活動② □全員が自分の考えを伝える機会を設けることで、学級全体で取り組む意識を高める。 ☆（1）地域資源の活用① □ゲストティーチャーを招いて話し合いに参加してもらうことで、実現に向けての期待を高める。 ◆【思—②】 地域に対する貢献度と実現の可能性を考慮しながら、地域のために行う自分たちの活動がよりよいものになるよう考えている。（振り返りシート・観察） <支援を要する児童への手だて> 全体での話し合いに積極的に参加することが難しい児童には、ゲストティーチャーや友達の発言を受けて自分の考えをもつよう伝える。

8分	○本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。 C：地域貢献ができて、自分たちも楽しめそうな企画に決まってよかった。 C：3学期に計画を立てて実行するのが楽しみだ。	□実行委員を募り、役割分担をしていくことを伝える。
----	---	----------------------------------

(3) 板書計画

それぞれの企画を分析して、 クラスの企画を決定しよう。	〈XYチャート〉  貢献度…誰のため 何のため やりがい 難易度…時間（時期） お金 大人の協力 など	〈決定事項〉 〈振り返り〉 ・ ・ ・								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">各グループの 提案</td> <td style="width: 15%; height: 40px;"></td> <td style="width: 15%; height: 40px;"></td> <td style="width: 15%; height: 40px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </table>	各グループの 提案									
各グループの 提案										